



平成 29 年 3 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 28 年 8 月 19 日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 3145

本社所在都道府県 新潟県

本社所在地 新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号

問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長

氏 名 津野 芳彰

T E L (025)250-7335

1. 平成 29 年 3 月期第 1 四半期の業績（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
29 年第 1 四半期	3,329	(47.3)	△17,351	(-)	△17,880	(-)
28 年第 1 四半期	7,045	(166.9)	△15,694	(-)	△16,255	(-)

	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
29 年第 1 四半期	△17,880 (-)	△218 90	- -	-	△29.1	△537.1
28 年第 1 四半期	△16,255 (-)	△205 49	- -	-	△23.2	△230.7

(注) 1. 期中平均株式数 29 年第 1 四半期 81,680 株 28 年第 1 四半期 79,107 株

2. 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期率です。

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 自己資本当期純利益率は当期純利益及び自己資本がマイナスであるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	%	円 銭
29 年第 1 四半期	54,265	△16,423	△30.3	△201 07
28 年第 1 四半期	70,012	△14,853	△21.2	△187 76

(注) 期末発行済株式数 29 年第 1 四半期 81,680 株 28 年第 1 四半期 79,107 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
29年第1四半期	△16,613	△85	10,000	10,304
28年第1四半期	△12,747	△351	15,000	6,234

2. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	66,744	△38,761	△38,761	—	0	—	0	0

（参考）1株当たり予想当期純損失（通期）474円 54銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

平成 28 年 8 月 19 日

第 14 期 第 1 四半期報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで)

会社名 (定款上の商号)	マイコロジーテクノ株式会社
英 文 名	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コ ー ド 番 号	3145
代表者の役職氏名	代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所	新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電 話 番 号	025-250-7335
連 絡 者	代表取締役 津野 芳彰

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 14 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日
		金 額	金 額	金 額
I 売上高		3,329	3,329	7,045
II 売上原価		936	936	1,943
売上総利益		2,392	2,392	5,101
III 販売費及び一般管理費		19,744	19,744	20,795
営業損失		17,351	17,351	15,694
IV 営業外収益		92	92	187
V 営業外費用		621	621	748
経常損失		17,880	17,880	16,255
税引前四半期(当期)純損失		17,880	17,880	16,255
法人税、住民税及び事業税		-	-	-
四半期(当期)純損失		17,880	17,880	16,255

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 14 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数		81,680 株	81,680 株	79,107 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純損失		218 円 90 銭	218 円 90 銭	205 円 49 銭
潜在株式調整後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純利益		-	-	-

(注) 潜在株式調整後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	第 14 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日
マイコロジー事業		—	—	—
健康食品販売事業		3,329	3,329	7,045
合 計		3,329	3,329	7,045

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第13期末	第14期第1四半期
		平成28年3月31日現在	平成28年6月30日現在
		金 額	金 額
	(資産の部)		
I	流動資産		
1.	現金預金	17,003	10,304
2.	受取手形	7,803	7,803
3.	売掛金	21,295	9,179
4.	製 品	2,798	5,116
5.	半製品	1,524	1,280
6.	原材料	381	297
7.	仕掛品	11,841	14,362
8.	前払費用	649	649
9.	未収入金	207	2
10.	その他	3,095	3,288
11.	貸倒引当金	△943	△943
	流動資産合計	65,659	51,341
II	固定資産		
1.	有形固定資産		
	工具器具備品	0	85
	有形固定資産合計	0	85
2.	投資その他の資産		
	敷 金	2,839	2,839
	投資その他の資産合計	2,839	2,839
	固定資産合計	2,839	2,924
	資産合計	68,498	54,265

(単位：千円)

科 目	期 別	第13期末	第14期第1四半期
		平成28年3月31日現在	平成 28 年 6 月 30 日現在
		金 額	金 額
	(負債の部)		
I	流動負債		
	1. 買掛金	7,723	431
	2. 短期借入金	55,390	65,390
	3. 未払金	1,761	3,224
	4. 未払費用	-	621
	5. 未払法人税等	1,654	-
	6. 預り金	511	747
	7. 仮受消費税	-	273
	流動負債計	67,041	70,689
	負債合計	67,041	70,689
	(純資産の部)		
II	株主資本		
1.	資本金	472,616	472,616
	2. 資本剰余金		
	資本準備金	420,616	420,616
	資本剰余金合計	420,616	420,616
	3. 利益剰余金		
	その他利益剰余金		
	繰越利益剰余金	△891,775	△909,655
	利益剰余金合計	△891,775	△909,655
	株主資本合計	1,456	△16,423
	純資産合計	1,456	△16,423
	負債・純資産合計	68,498	54,265

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第13期末	第14期第1四半期
		平成28年3月31日現在	平成 28 年 6 月 30 日現在
発 行 済 株 式 数		81,680 株	81,680 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		17 円 84 銭	△201 円 07 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日）

(単位：千円)

項 目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計		
平成 28 年 4 月 1 日残高	472,616	420,616	420,616	△891,775	△891,775	1,456	1,456
第 1 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	△17,880	△17,880	△17,880	△17,880
第 1 四半期中の変動額合計	-	-	-	△17,880	△17,880	△17,880	△17,880
平成 28 年 6 月 30 日残高	472,616	420,616	420,616	△909,655	△909,655	△16,423	△16,423

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5【経理の状況】 1【計算書類等】 (4)【個別注記表】 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法

各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
--

2. 消費税等の会計処理

仮払消費税等及び仮受消費税等を相殺し、未収入金として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第14期第1四半期の業績の概況（平成28年4月1日から平成28年6月30日）

当第1四半期におけるわが国経済は、政府および日本銀行の継続的な経済政策や金融政策により穏やかな改善がみられました。中国やアジア新興国の経済や原油価格の不安定さ等、予断を許さない状況が続いています。

公益社団法人日本通信販売協会の平成28年6月3日発表の2016年5月度調査概要によると、2016年5月度の総売上高（136社）は1,223億5,000万円となり、前年同月比でみると-3.1%と減少しました。しかし健康食品の売上高は、15,501百万円から15,655百万円となり、前年同月比でみると1%増加しました。加速する高齢化社会の中、健康食品の市場は拡大していると思われます。

平成27年10月17日に行われた「越後白雪茸研究会」以降、健康食品の取り扱い企業からの商品開発の引き合いが増えてきました。特にレスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」のOEMの受注ならびに、成分を変化させた新企画の共同開発についての依頼がきています。50mlドリンクの「アルピタ」が徐々に出荷数が増える中、このサイズの越後白雪茸製品の企画依頼もいただくようになってきました。

前年度に新たに企画された各種酵素入りドリンクやソフトカプセル等は、今年度の営業や商品開発に生かされるノウハウが蓄積されました。そして大手健康食品メーカーや健康食品販売会社との共同開発を進めていますが、短期間での売上増にはなりませんでした。

新潟薬科大学を中心に機能性の実験を行いながら、金沢大学と有効成分の物質を特定するために共同研究を行っています。

越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を講演会の開催、学会への参加等、広く行ってきました。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高 3,329 千円（前年同期比 52.7%減）、営業損失 17,351 千円（前年同期 営業損失 15,694 千円）、経常損失 17,880 千円（前年同期 経常損失 16,255 千円）、四半期純損失 17,880 千円（前年同期 四半期純損失 16,255 千円）となりました。

III 第14期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第13期（実績）	第14期（予測）
		自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売 上 高		42,427	66,744
営業利益又は損失（△）		△66,251	△36,277
経常利益又は損失（△）		△69,291	△38,761
当期純利益又は損失（△）		△69,931	△38,761

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別
	第 14 期 第 1 四半期 自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日
現金及び預金の増減額	△6,699
現金及び預金の四半期首残高	17,003
現金及び預金の四半期末残高	10,304

(主な増減理由)

当事業年度の主な増減理由は以下のとおりです。

短期借入金の増加 10,000 千円、売上債権の減少 12,115 千円、未払金の増加 1,462 千円

(以上現金及び預金の増加要因)、税引前当期純損失 17,880 千円、仕入債務の減少 7,292 千円、
たな卸資産の増加 4,509 千円 (以上現金及び預金の減少要因) によります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別
	第 14 期 第 1 四半期 自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日
短期借入金増減額	10,000
短期借入金の四半期首残高	55,390
短期借入金の四半期末残高	65,390

(主な増減理由)

当第 1 四半期における短期借入金の増加の理由は、株式会社国際総合ファイナンスからの借入による増加額
10,000 千円によるものであります。

V その他

該当事項はありません。

以上